

集計中

戦後最大洪水等に対応した河川の整備率



整備率 ○○%

(令和7年度末時点)

農地・農業用施設の活用



○○市町村

(令和○年○月時点)

流出抑制対策の実施



○○施設

(令和○年○月時点)

山地の保水機能向上・土砂・流木対策



治山対策・森林整備

○○箇所

(令和○年○月時点)

砂防事業による保全箇所

○○施設

(令和○年○月時点)

立地適正化計画における防災指針の作成



○○市町村

(令和○年○月時点)

水害リスク情報の提供



洪水浸水想定

○○河川

(令和○年○月時点)

内水浸水想定

○○団体

(令和○年○月時点)

高齢者等避難の実効性の確保



避難確保計画

○○施設

(令和○年○月時点)

個別避難計画

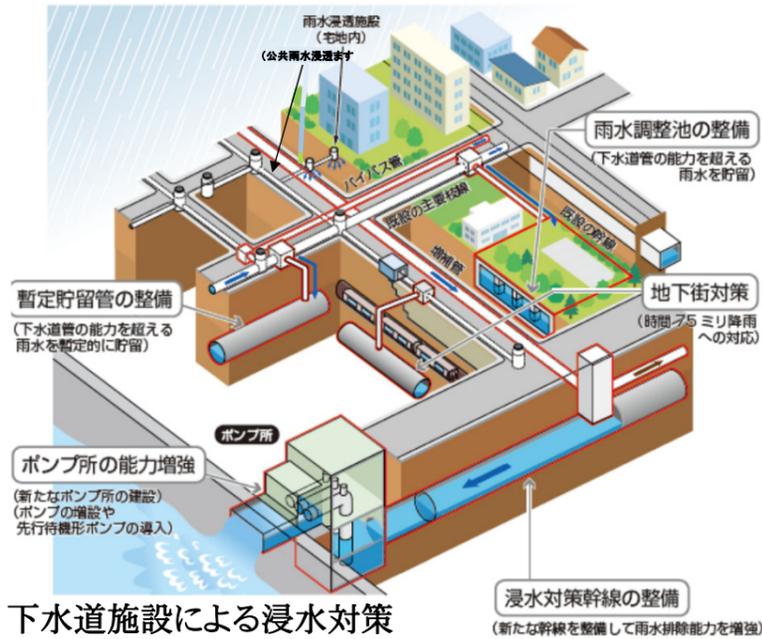
○○市町村

(令和○年○月時点)

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

『下水道施設(雨水幹線・貯留施設等の整備)による浸水対策』

浸水対策のイメージ



■取組の概要

【東京都】

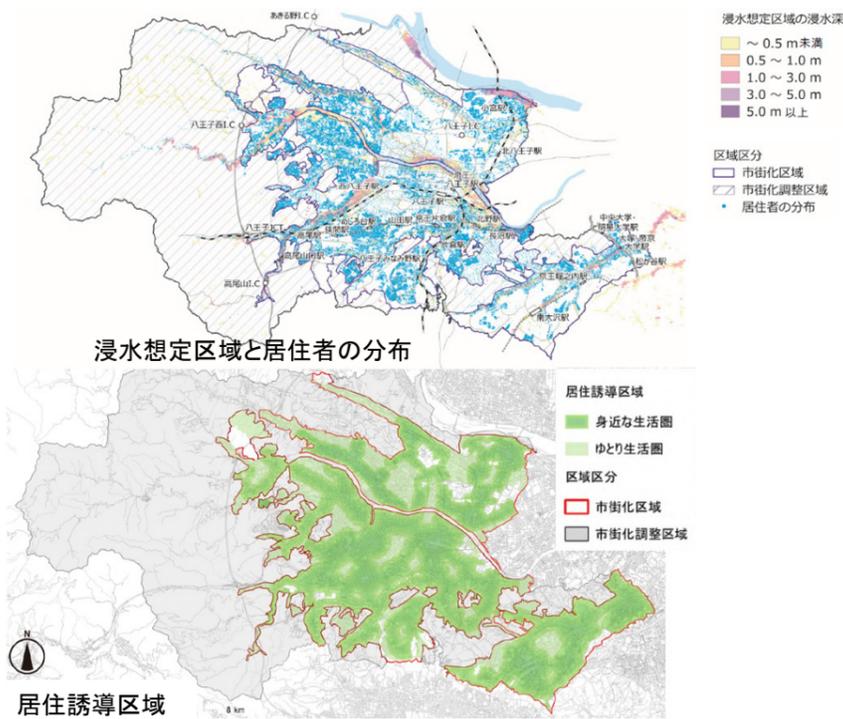
- 幹線やポンプ所などの基幹施設や雨水貯留施設を整備するとともに枝線を増径する再構築を実施。
- 急激な豪雨に対応する無注水形先行待機ポンプや、停電時に対応する非常用発電設備の増強。

【日野市】

- 東平山雨水幹線の整備を完了(令和3年度)

被害対象を減少させるための対策

『浸水想定区域(浸水深0.5m以上の区域)を居住誘導区域から除外(立地適正化計画)』



※土砂災害特別警戒区域、土砂災害警戒区域、急傾斜地崩壊危険区域、浸水想定区域(浸水深0.5m以上)、生産緑地地区、斜面緑地保全区域は、居住誘導区域から除外します。これらの区域については、それぞれの区域図等で最新の情報を確認してください。
 ※「身近な生活圏」及び「ゆとり生活圏」は、平成31年(2019年)4月1日時点の路線バスのサービス水準に基づく概ねの圏域を示す目安であり、必要に応じて見直します。また、都市を平面的に捉えたものであり、トンネルや橋梁など地形の状況により、実態と異なる場合があります。

■取組の概要

【八王子市】

浸水深が0.5m以上になると、床上浸水の危険性があり、水平方向への避難も困難になることから、八王子市立地適正化計画では、浸水想定区域(0.5m以上の区域)は居住誘導区域から除外しています。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

『避難行動要支援者を対象とした自動起動機能付きラジオの無償貸与について』



- ★緊急放送受信時に自動起動
 - ★照明灯つき
 - ★はがきサイズでコンパクト、停電時も乾電池で使用可能
- 以上の特徴があり、防災用品としてお使いいただけます。

■取組の概要

【狛江市】

- 狛江市地域見守り活動支援対象者名簿に登録があり、個別計画を策定されている方を対象に、自動起動機能付きラジオを無償貸与しています。配布しているラジオは、緊急放送を受信すると自動的に起動するコミュニティFM防災ラジオです。
- 災害時における避難行動要支援者への緊急情報等の迅速な伝達を図ります。

※狛江市地域見守り活動支援対象者名簿：75歳以上のみの世帯や、障がいがある方など、日頃から見守りが必要な方や、災害時に支援が必要な方の情報をあらかじめ登録する名簿です。

※個別計画：災害発生時において要支援者一人ひとりについて作成する避難支援計画です。